

研究協力のお願

昭和大学病院をはじめとする研究協力病院(以下 1. 参照)では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

術前 Vessel wall imaging 施行した大型動脈瘤に対するフローダイバーター留置術の治療経過の検討		
1. 研究の対象および研究対象期間 2016年4月1日から2024年6月30日に昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院 脳神経外科で大型脳動脈瘤に対してフローダイバーター留置術を施行された患者さんのうち術前造影 MRI 検査にて Vessel wall imaging を撮像された患者さん。		
2. 研究目的・方法 直達術での治療困難な大型動脈瘤に対する治療として、Flow Diverter 留置術が近年多く使用されています。しかし治療成績に関しては必ずしも良好とは言えず、その原因の一つとして動脈瘤壁の構造による治癒率の変化が示唆されています。今回治療前に造影 MRI にて Vessel wall imaging を施行した症例からそれぞれの治療後転機を調査し、大型動脈瘤の病態および治療における課題を検討致します。		
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年6月30日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢、性別、診断名、画像検査(脳動脈造影、MRI、CT)、処方薬		
5. 外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院、昭和大学附属東病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院および昭和大学横浜市北部病院 脳神経外科(提供元)から昭和大学病院 脳神経外科(提供先)へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。		
6. 研究組織		
研究責任者	昭和大学横浜市北部病院脳神経外科	平戸麻里奈
研究分担者	昭和大学病院 脳神経外科	松田芳和
	昭和大学藤が丘病院 脳神経外科	津本智幸

昭和大学横浜市北部病院 脳神経外科 寺田友昭

昭和大学横浜市北部病院 脳神経外科 山家弘雄

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院脳神経外科 氏名：平戸麻里奈

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：0337848000(内線 4412)